



たきた ようこ
滝田 洋子 議員
(日本共産党議員団)



重度心身障がい者医療費助成について

Q 重度心身障がい者医療費の償還払いについて、本人に代わり申請をする親が高齢になり、申請書を記入するのもとても大変との声があるが、申請をしていない方の調査結果を伺いたい。

こども福祉部長

A 重度心身障がい者医療費助成の受給資格者で、過去3年間に医療費助成を申請されなかった103人を調査対象とし、59人から回答をいただきました。「申請の方法が分からなかった」が30人、「医療費が少額のため申請しなかった」が16人、「医療機関への受診がなかった」が8人、「申請に向くことが困難で、代理申請できる家族等がない」が5人でした。

今回の調査結果を踏まえて、今まで以上に丁寧で分かりやすい説明を行い、制度を有効に活用していただけるよう周知を図っていききたいと考えています。

その他の質問

- ☆野生動物への対策について
- ☆こどもクラブについて
- ☆不登校に関わる教員研修会について



こぐれ ひろし
小暮 博志 議員
(政友みらい)



データヘルス計画について

Q 佐野市の特定健診の受診率が低いことについてどのように考えているのか。

市長

A 本市の特定健康診査の受診率は徐々に上昇しているものの、全国平均及び県平均を下回っている状況にあります。このことから、かかりつけ医の先生から特定健診について一言お声かけいただくことや、本人の同意を得た上で、本市の診療情報を提供してもらう取り組み、また、受診率が低い40代の未受診者宅を訪問し、本人及び家族の方に対し、健診を受診していただくような働きかけを本年度から開始しました。

さらに、今後も健康長寿づくりに関する協定を締結した協力事業者とともに、各種検診の受診率を向上させるような取り組みを進めていきたいと考えています。

その他の質問

- ☆圃場整備事業について



おぐら けんいち
小倉 健一 議員
(志翔会)



盛り土規制、対応について

Q 鉱山保安法で届出が義務づけられる集積所等は、盛り土規制法に基づく許可・検査は不要であり、「土地を安全な状態に維持に努めなければならぬ」とされているが、鉱山を閉山した後の盛り土についてどのように取り組んでいくか伺いたい。

都市建設部長

A 鉱山保安法等其他の法令の規定に該当しなくなった既存の盛り土等についても、盛り土規制法において、土地所有者等に対する土地の保全等の義務が規定されています。また、県において必要に応じ盛り土等の現地に立入り検査が行えることや災害の防止のため必要があると認められる場合は、土地の所有者、管理者、工事主または工事施工者に対し、災害防止のための措置を取るよう勧告し、それに従わない場合は、改善命令や罰則を科すことができるものです。

その他の質問

- ☆佐野市の防災について
- ☆佐野市の安全な「水」について
- ☆市営住宅について